

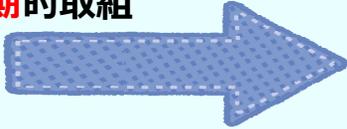
諮問

コミュニティ組織が地域課題の解決に取り組むにあたり、より効果的な活動となる交付金のあり方について

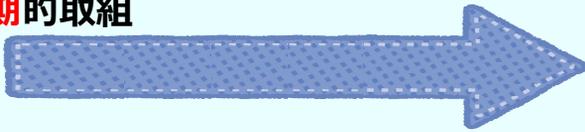
交付金の使い方やコミュニティの活動について・・・
すぐに取り組むべきこと、長い時間をかけて形成すべき取り組みなど
分かりやすくするためには、取り組みや課題についても整理が必要

答申 整理のイメージ

短期的取組



中期的取組



長期的取組



コミュニティの活動
交付金の使い方

理想とする姿



前回の会議で意見の出た項目、キーワード

地域活動への参加に関して

- 若手人材（担い手）不足
- 学生のボランティア協力
- 隙間時間でお手伝い
- 会員、非会員の扱い
- コミ構成員のあり方
- 組織に属さず活動(個人活動)している方との関わり方※潜在的含む
- 地域活動(ボランティア意識)に関する教育
- 有償ボランティアのあり方
- 地域学校協働活動と交付金

コミュニティの運営に関して

- 繋がりや交流（部会ごと）
- 構成員で参加できる人を狭めている
- 事務局（事務所）のあり方
- 物価高騰への対応

コミュニティなどの周知に関して

- 非会員をコミ行事に誘いにくい
- コミュニティが全住民対象と知らない
- 全戸配布(見ない人への対応)
- 子どもの成長と共に繋がりが無くなり、コミュニティを知らなかった
- みんながコミュニティの構成員と知り、交付金をどう使うか考えることもみんなに権利があることを知ってもらう

交付金の周知に関して

- どう使われているか知ってもらうための最低限のルール作りをする
- 市民に広く知れ渡る取組が最優先
- 地域別計画が本当に役立ったのか、どのような課題があるのか調査できればよい